

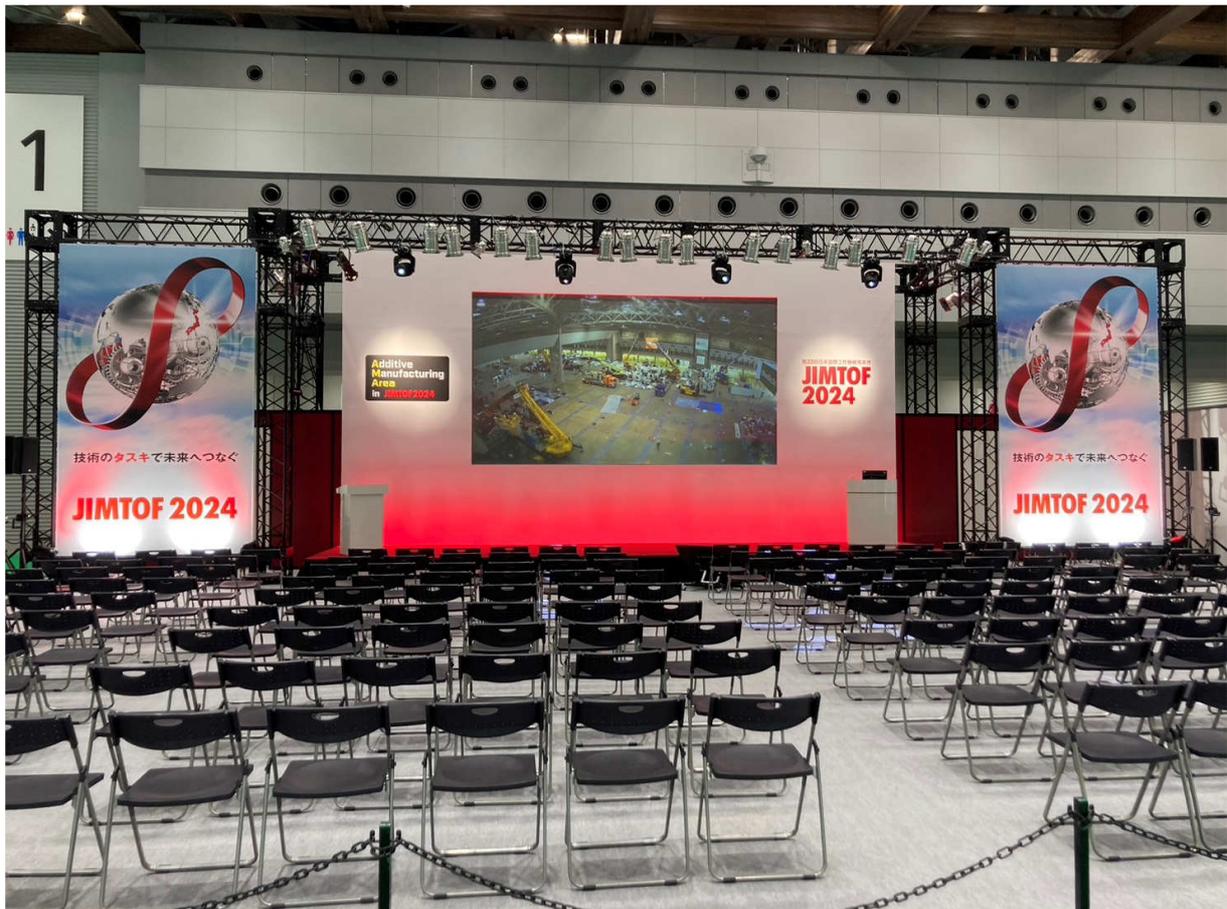
JIMTOF 2024 視察

2024.11.08

どうも、僕です。

2024年東京ビックサイトで開催された「**JIMTOF2024**」に、弊社社員（製造部2名、技術部1名）3名で視察に行っていました。会場内の雰囲気を紹介させていただきます。弊社HPに訪問された方に、日本が誇る「世界四大」工作機械見本市を世界最速（ウソ）でお届けしたいと思います。

※写真は主催者メインステージ。



ちなみに…、「世界四大」工作機械見本市とはなんぞや？というと、

工作機械メーカーや周辺機器メーカーの新製品を発表する、大規模な「**工作機械展示会**」です。

昔は日本（東京）で開催される「**JIMTOF**」。

ドイツ（ハノーバー）・イタリア（ミラノ）で開催される「**EMO**」。

アメリカ（シカゴ）で開催される「**IMTS**」の3つの見本市で「世界三大」と呼んでいたようですが、

最近では中国（北京）で開催される「**CIMT**」も加わり、「世界四大」と呼ばれるようです。

そして今回の「JIMTOF2024」は1200社以上の出展があり、海外出展者も最大規模とのこと。

2020年はコロナ禍による影響もあり、初のオンライン開催となったようですが、

2022年度は1000社以上の出展と、順調に右肩上がりです。

で、前置きはこの程度にして「**JIMTOF2024**」のレポをいってみましょう。

…と、言いたいところですが、下記の写真をご覧くださいとお分かりのように、会場内は**撮影禁止**です。（泣）



よって、訪問される方は撮影にご注意を。

撮影する場合は、近くスタッフさんに確認しましょう。

ここから掲載している写真は、

ブースのスタッフ様に**撮影許可をいただいた場所**、もしくは**当たり障りのなさそうな場所のみを撮影**しております。

今回のレポをご覧ください、

「内容スカスカじゃない？」だとか、

「レポというほどでは…」といったご指摘、ご意見はあるかと思いますが、生暖かい目で読んでいただければと思います。

ではあらためまして、「**JIMTOF2024**」までの珍道中をご紹介します。

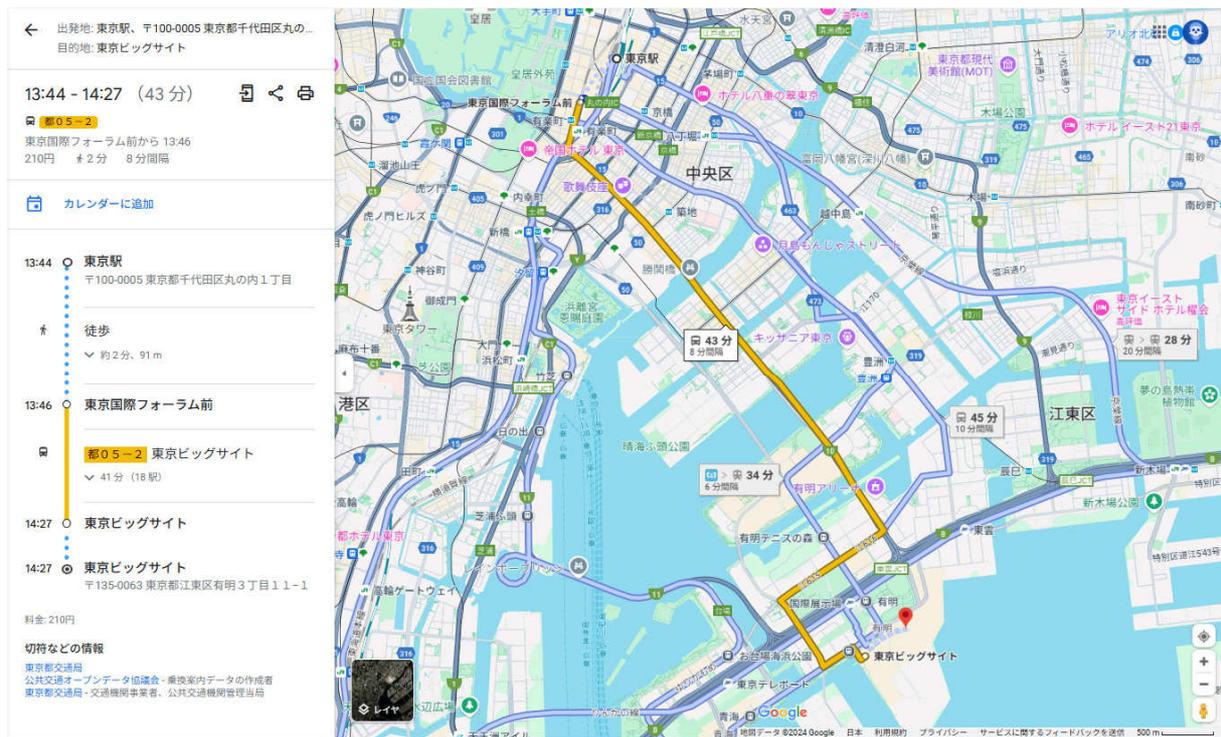
さて、我々大阪の人間は「大阪」から「東京」へ新幹線で移動です。

よって出発は東京駅。

東京駅から「東京ビックサイト」への移動は、今回私どもが利用した「都バス」がリーズナブル。

車で 40 分かかる道のりを、たった **210 円**（2024 年 11 月時点）で移動できます。

さすがオレたちの都バス…。



今回利用した都バスは、「銀座」、「築地」を通り、「勝鬃橋」を渡り、「晴海大橋」を渡り、「新豊洲」を通過。

「有明テニスの森」なる、深淵を抜ければ東京ビックサイトに到着します。

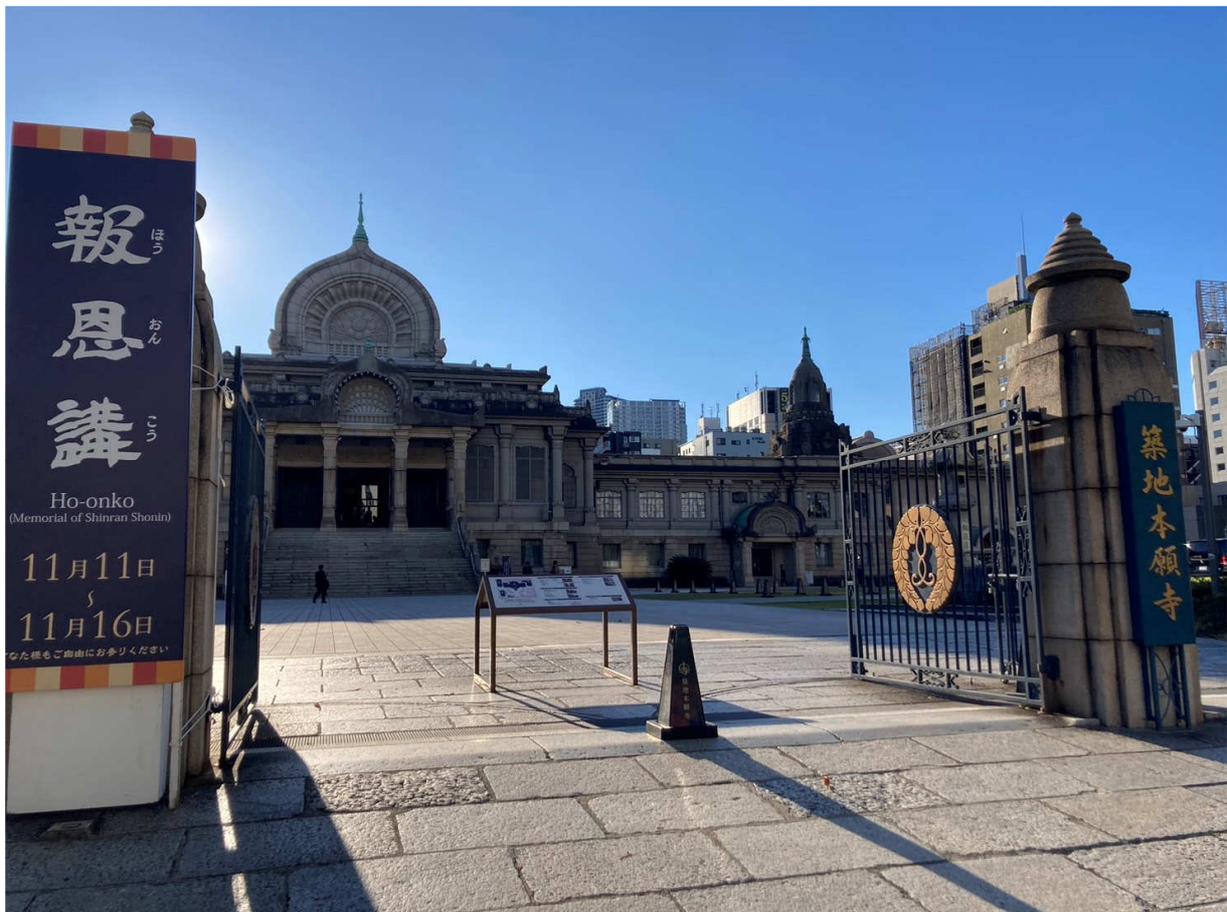
他にいろいろな経路もありますので、ご自身にあったバスプランをご計画ください。

ご利用は計画的に…。

ちなみに私たち浪速刃物ひょうきんトリオは、前日に弊社東京支店に用事があり、支店近くに宿泊。

朝早くホテルを出て、「築地」までは電車で移動。築地から上記バスに乗り込みました。

築地という観光地を通過するため、つつい寄り道したくなりますが、全てスルーしてお仕事優先です。



築地本願寺も素通りし…。



築地に立ち寄ることもまったくなく…。



寿司〇味の本店も見ず。

朝ごはんも食べたかったですが、早々に築地から出発。

いや、ホントに…。

そして、東京ビックサイトに到着。

バスは混雑が半端ないので、

キャリーバッグなど、大きな荷物を持って行かれる場合はご注意ください。

JIMTOF 開催期間中の 11/5～11/10 は、もれなく満員御礼です。

今回視察日は 11/7。

AM9 時にもかかわらず、かなりの人混みです。

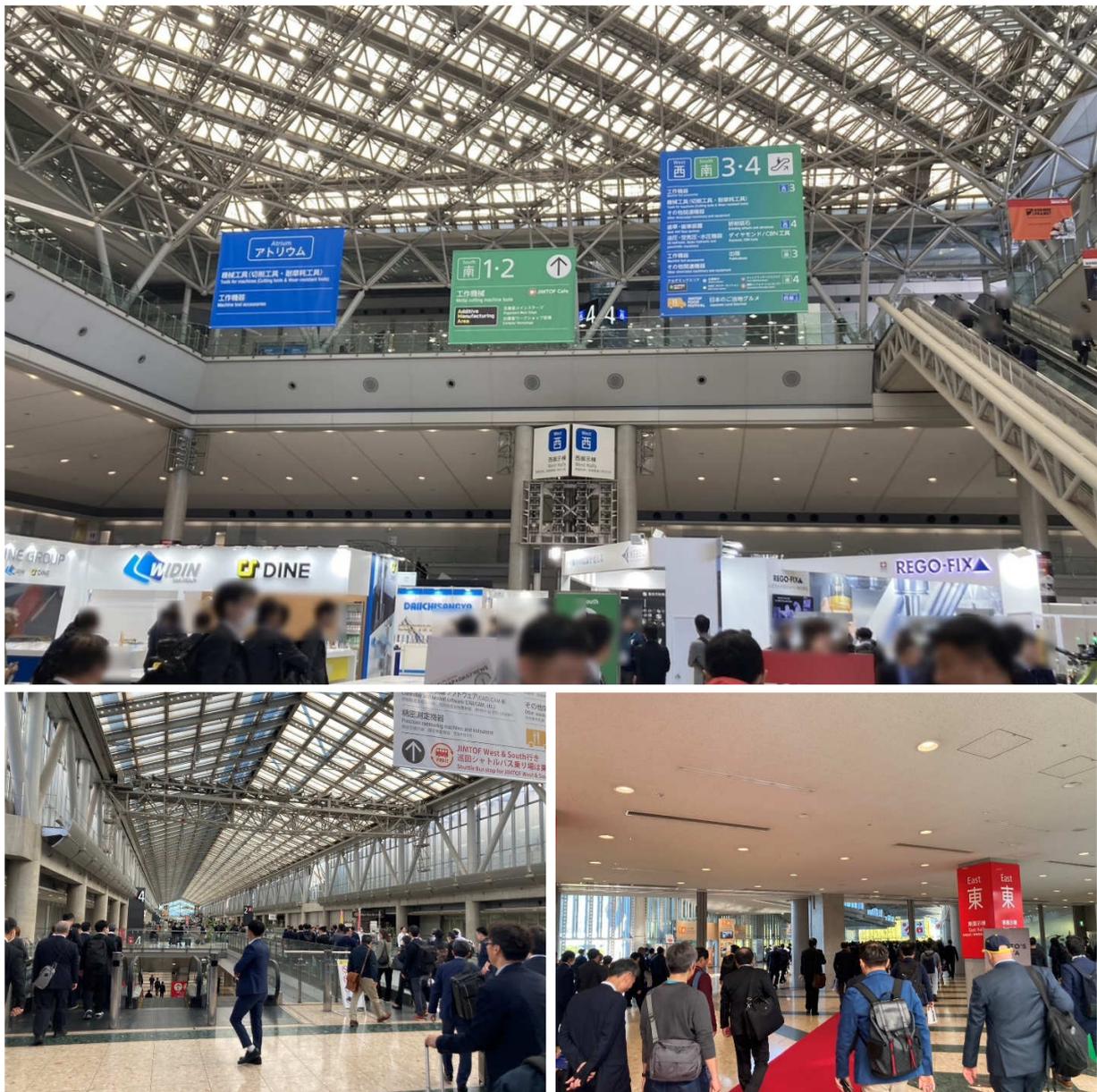
後から商社さんに聞いた話、

最終日に向かってどんどん混雑していくようです。

皆様、**混雑を避けたいのであれば、**

前半の開催日に訪問しましょう。





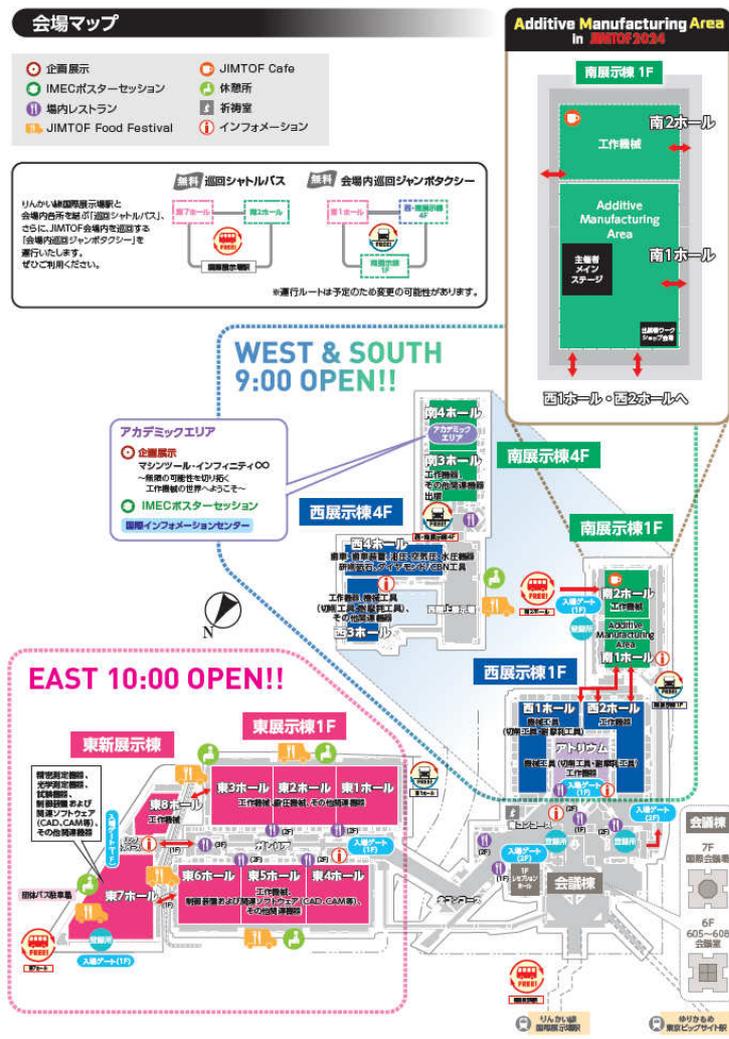
大きな荷物などは、ロッカーに押し込んでいざ突入。

上記写真は会場入り口のアトリウムと、連絡通路の様子です。どこも人、人、人です。

わかっていましたが、かなり広い会場ですので徒歩での移動が地味にキツイ…。

日々の運動不足がここにきて響きます。

帰ったらビリーズ・ブート・キャンプで運動を。と、心に誓ったり、誓わなかったり。



左写真は公式 HP から DL 可能な MAP です。

今後 JIMTOF に行ってみようとお考えでしたら、MAP を DL し、**事前に訪問する企業様をチェック**するのがおススメ。訪問順などの予定を立てておけば、より GOOD です。

今回は WEST & SOUTH エリアと、EAST エリアではオープン時間も違いました。

MAP 自体は、現地で紙媒体の配布もあります。また会場のいたるところに、下記の写真のように案内図看板があります。



そして歩き疲れた貴方には、おしゃれなカフェや、レストラン。現代が手にした永遠、コンビニエンスストア。

素敵なキッチンカーでのご当地グルメ販売などもございます。

歩き続けるのも良いですが、

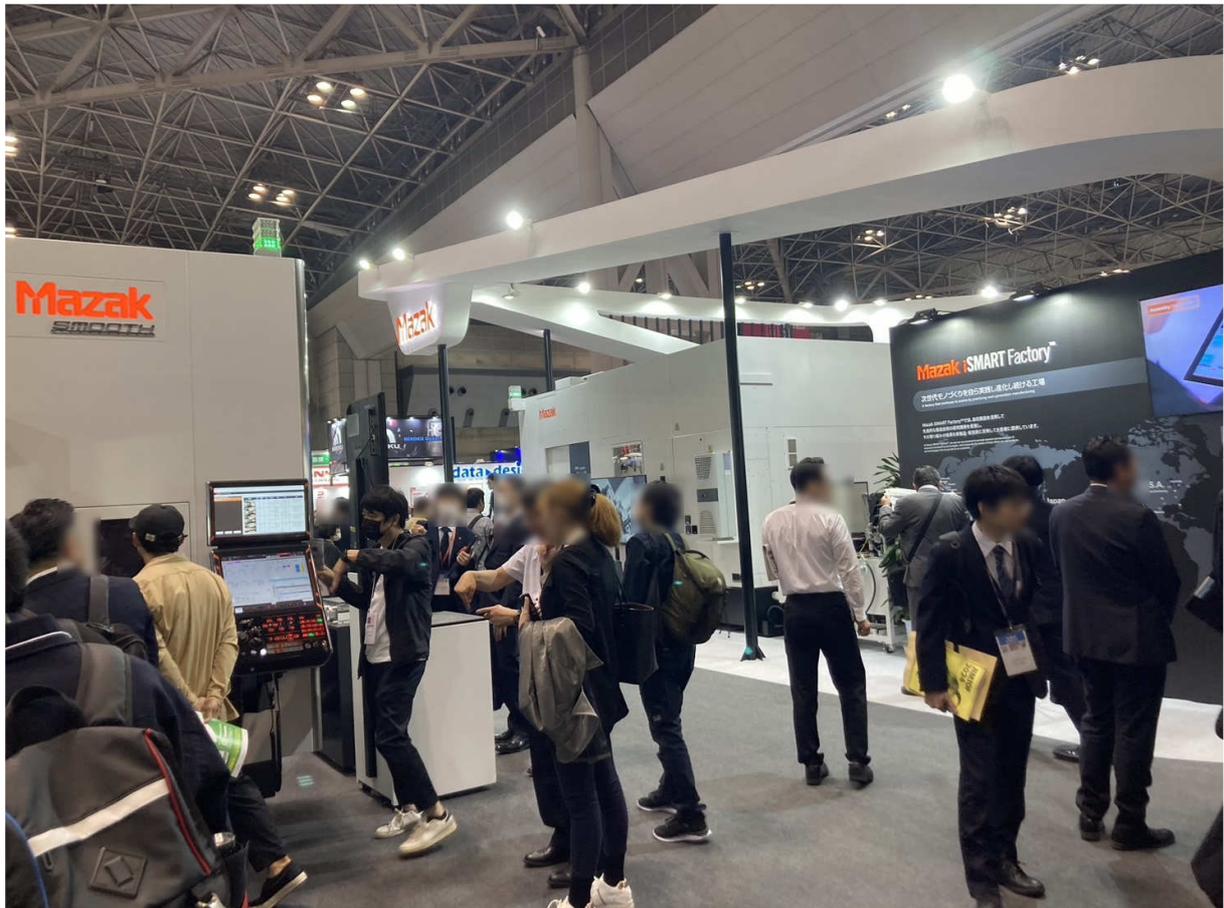
ちょっと立ち止まって、

休憩するのも良いのではないのでしょうか。

ご自愛ください。

敬具





マザック西川の「池上」様と待ち合わせし、「Mazak」様に訪問。

弊社でも Mazak 製マシニングが導入されております。

今回の「JIMTOF2024」でも 1, 2 を争うブースの広さを誇っており、「EMO2023」でも巨大なブースでした。

もちろん、上記写真の通り大盛況です。

展示物に関してはマシニング、レーザー加工機、自動化システムなどを展示されていました。

機械の自動化によって、生産性の向上、省人化を実現する…。

実にエレガント。

昨今、人手不足や人件費の高騰により、メーカー様はこころへんに重点を置いている気がします。

昔読んだ小説で、未来人は「脳」と「指」だけだった…。

みたいな、ワンタッチのみで最初から最後まで事が済む時代は来るのでしょうか？



そして弊社が使用する機械油をお願いしております、「Blaser」様に訪問。

少し前に機械油の値上げがあり、その説明を担当営業の「安達」様から。

※写真左から、

弊社、ワイヤー放電加工担当「ポール」。

Blaser 西日本営業部長「安達」様。

弊社、製造部 次長「グエン」。

弊社、技術部 係長「セヴェク」です。

で、まじめな話に戻りますと、

海外輸入品については為替の影響を受けており、ここ最近の円安がかなり厳しいとのこと。

よって、価格を据え置きすることが難しく、泣く泣く値上げを実施することになったと。

弊社も製造業。お話は痛いほどわかります。

ただ、消耗品の価格高騰はジリジリとボディブローのように効いてきます。

製造原価に響くところですので、放置しておくこともできない問題。

よって、代替案として性能の良い機械油を使用し、交換時期を先に延ばす方法を試す方向に。

やってみなければわかりませんが、テスト導入を検討してみましようという事でお話は終了。



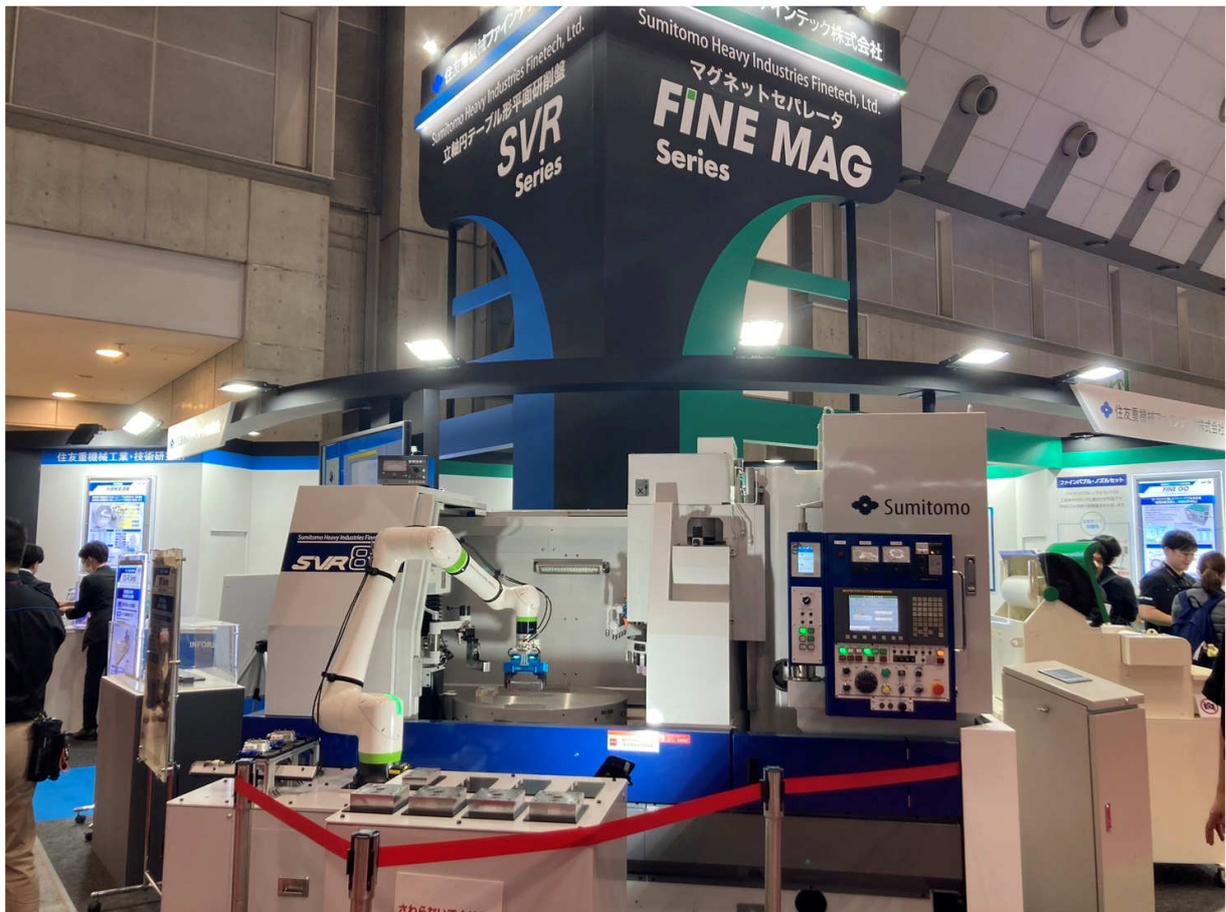
帰りに「Blaser」様ロゴ入り可愛い缶をいただきました。

ペン立てかな？と思っていたら中には「チョコ」が！

しかも「LINDOR」！

これからも末永く

お願いいたします。



「住友重機械ファインテック」様に訪問。

ここにも工作機械前にロボットアームが。

お話を聞くと、製造業の人手不足をこのようなロボットアームで補うケースが増えていると。

弊社の製造工程では、無人化を実現するには厳しい環境で、まだまだ人の手が必要ですが、

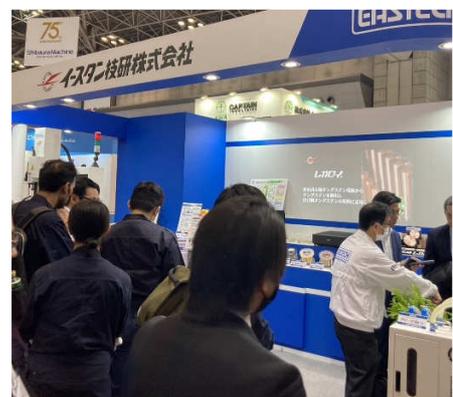
大手企業さんの製造工場では、上記写真のようにアームロボットを導入し、

人手不足解消と人件費削減の一石二鳥を、このロボットアームで実現しているのかもしれない。

次にワイヤー放電加工機の消耗品を取り扱っている、

「イースタン技研」様に訪問。

通常ワイヤーの4割増しの加工スピードが可能な、高速ワイヤーが展示されていました。弊社もワイヤー放電加工機がありますので、テスト導入を検討するかもしれません。





そして巨大なブースの「FANUC」様に訪問。

奥にそびえたつ、天井に届きそうかというほどのロボットアーム！

ロボットアーム売り上げ規模上位4社に入るのは伊達じゃない。

近づくと「ウインッ、ウインッ」と素早く動作しております。実にスムーズ。

重量 500kg まで持ち上げられるとかで、

弊社の製品も持ち上げられるほどのスペックです。

スゴイッ！デカイッ！カッコイイッ！

時代はロボットアームです。



まとめ



と、ということで次回の「**JIMTOF2026**」は **2026/10/26～10/31** です。

次回訪問される方は要チェックです。事前準備は綿密に。

他にもいろいろ見て回ったのですが、撮影禁止の制約もあり、割愛しております。

会場の雰囲気をお伝えできておりませんが、ご容赦くださいませ。

で、今回いろいろな企業様のブースを周りましたが、3Dプリンタの存在が目立っていたように思います。

10年前にはそこまでだった技術ですが、最近はメキメキ頭角を現しており、

4年前からは建築分野にも応用され、3Dプリントされた住宅の販売が行われるようになったそう。

3Dスキャナを搭載した機種や、精密な造形が加工可能になり低価格化も進んだため、

ずいぶん普及してきたそうです。

あとは、やはり工作機械前に置かれた「ロボットアーム」でしょうか。工作機械の前に設置される姿をよく見ます。

製造業の人手不足や人件費削減などの問題に、ピタッとはまりつつあるのでしょうか。

製造業に身を置くものとして、これからも注視していきたいと思います。

そしてここまで読んでくださいました皆々様。

お付き合いいただきありがとうございました。

また逢う日まで。 さよなら。さよなら。さよなら。

蛇足

時は2024年11月7日。

やってきました東京駅。そして「ラーメンストリート」。

この日の気分は「醤油」でもなく、「塩」でもない。

「豚骨」かな？「家系」かな？「次郎系」？

「煮干し」じゃないよ。「つけ麺」だよ。

と、いう事でこの店。

「花道庵」さん！



「次郎系」のように太い麺。

一口すすると「豚骨」のような味わいのスープ。

しかし食べ進めるにつれ、しっかりと「味噌」を感じる。

半生のシャキシャキ感がたまらない「もやし」。

肉厚の「チャーシュー」。おいしゅうございます。

ごちそうさまでした。

おしまい



そして「味噌」だあー！

